



【2023年・夏期開園期間】4/29(祝)～11/3(祝) ※期間中の休園日はありません
 【開園時間】午前9:30～午後5:15 (最終入園は午後4:00まで)
 ※10/16(月)～11/3(祝)は午前9:30～午後4:30 (最終入園は午後4:00まで)

旭山動物園だより

発行所

旭川市旭山動物園
 動物図書館
 ☎0166-36-1104

「とりの村」は今、6月に生まれたカモのヒナたちでにぎわっています。6/5のマガモの孵化に続き、カルガモが孵化。6/23にはキンクロハジロも孵化しました。カモのヒナは孵化してすぐ自分の力で動き出し、水面を泳ぎ、エサを食べ始めます。夜、寝るときは、母ガモのそばに集まって体を寄せ合っていますよ。

6/27撮影

キンクロハジロのヒナ

カルガモのヒナ

マガモのヒナ

6/27撮影

6月上旬に孵化したマガモのヒナは、だいぶ成長しています

母のイオ

7ウ

ライ

イオ

6/27撮影

昨年9/12に生まれたライオンの仔たちも、もうすぐ1歳。たくましく成長中ですが、行動はまだまだ子ども。好奇心いっぱいの様子を観察してみてくださいね

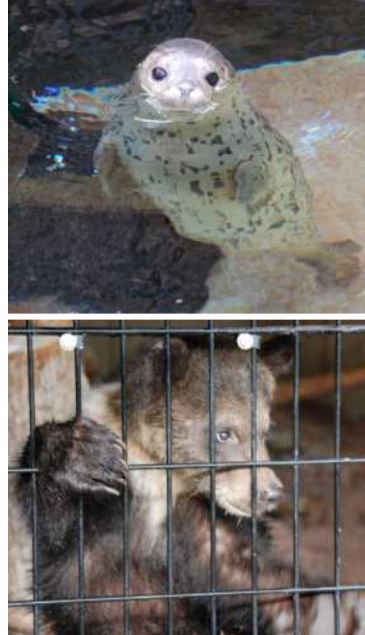
9月で1歳 ライオンの仔たち

続々と生まれた、カモのヒナ

ゴマファザラシの仔とエゾヒグマの仔を傷病鳥獣保護として受け入れました

ゴマファザラシの仔(メス)は、6/11に旭山動物園に到着。このアザラシは4月下旬、知床半島の漁港でケガをしているところ、公益財団法人知床財団が保護をし、治療をおこない回復しましたが、泳ぐことが上手くなく、海に戻すと漁網などに絡まる事故の可能性が高くなるため海へ戻すことは断念。協議の結果、旭山動物園で受け入れることになりました。

エゾヒグマの仔(オス)は、6/19に到着。この仔グマは、砂川市で親グマとはぐれ衰弱し保護されました。放獣できる場所もなく、旭山動物園でのヒグマの収容数にも余裕があったため、保護受け入れとして対応しました。両個体とも、よく食べ元気です！



生きものを観察して「みるみる観察して」とみえてくる彼らのつながり

2023年も半分が終わり、今は暑い夏。木々が生い茂り、セミが鳴いています。チヨウやトンボも飛んでいますし、クワガタムシも出てきました。イモムシも毛虫も多く見つけることができます。昆虫だけではありません。野鳥やヘビやトカゲ、カエルやクモ、花や実、種をつけた植物も多く観察できます。多種多様な生きものを観察していると弱肉強食、食物連鎖など「生きものたちの豊かな個性のつながり」を実感できます。4か月後にはこういった「つながり」を観察しづらくなります。今のうちにいろいろな生きものを観察してみてくださいね。

2023年の夜の動物園は8/10(木)～16(水)の7日間

夜9:00まで開園時間を延長し(最終入園は夜8:00)、暑く明るい昼にはみられない、涼しく暗い夜の動物たちの姿を観察することができる「夜の動物園」。今年も7日間の日程で開催します。詳細は公式ホームページで更新します。どうぞお楽しみに！

フクロウ類は夜、活発になります

ペンギン類は夜、静かになります

8/25(金)まで 第55回旭川市旭山動物園 児童動物画コンクールの作品募集中!

7/1より、第55回旭川市旭山動物園児童動物画コンクールの作品を募集中です。絵のテーマは「旭山動物園内の動物および風景」。幼児の部、小学校低学年の部、小学校高学年の部の3部門で作品を募集中です。詳細は公式ホームページにアップされている実施要領をご参照ください。実施要領には、テーマや応募資格、募集区分のほか、作品の規格(画用紙の大きさや画具について)や応募方法、留意点などが書かれています。